

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 5月 21日  
(1階、2階 共通)

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2773801291		
法人名	医療法人 健泉会		
事業所名	グループホーム 西松庵		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	羽曳野市高鷲七丁目82番		
自己評価作成日	平成 22年 4月 27日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

### 【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 5月 7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ご利用者が自身のペースを大切に、その人らしく暮らして頂けるように支援している。
- ・毎日の食事を楽しみ、また満足していただけるように工夫している。
- ・レクリエーション、機能訓練、体操を充実させ、役割をもって活気ある生活ができるように支援している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは設立後4年半で、職員はベテランの介護経験者が主体となり、利用者との対話は必ず、お名前の呼びかけから始めるように心掛け、日頃からお互いに打ち解けた雰囲気の中で、しかも節度のある生活を進めている。

所在地の近辺は住宅街ですが、裏は農地が多少見かけられる静かな環境です。建物の周囲には、洋風と和風の2種類の庭園があり、樹や花類が植えられ、のどかな季節を感じることができます。

又、併設のデイサービスがあり、催しにはホームの有志の方も参加していますが、音楽療法士による馴染みの歌や楽器に触れることにより、参加者の心が豊かになり、利用者同士で癒しの場づくりにつながっています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者第一主義で快適な時間と心ある介護を理念としている。理念を施設内に掲示し、常に確認し共有している	定例の職員会議は毎月第1月曜日の18時からとなっていて、ホームの理念を主とした方針が話し合われている	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	自治会に入り、地域行事に参加している。また、施設行事に参加頂く機会を設けている	自治会主催の諸行事、ホーム側の諸行事と、相互に参加しあっている	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護の施設として、家族介護者教室を開き、介護に関する講習会を定期的に催している	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況などについて、報告などを行っている。また、サービス向上のための意見交換を行い、サービス向上に活かしている	規定通り2ヶ月ごとの開催が進められ、出席者の方々からの、ご意見を参考として向上に繋げている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サービス内容についての疑問などについては、市の担当職員に質問し、解決している。また事業者連絡会に出席する事でサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所の職員は、疑問点があれば、市役所の担当部署の方々に質問したりして、ご指導を受けている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束については、都度職員全体や個々に理解してもらえるように説明し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。しかし職員全体への理解は不完全	組織全体として取り組みの不十分な箇所の検討と今後への取り組みを進めている。ホームの屋外へのドアは、デイサービスによる人々の通行があり、現状では難しい	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常的に行われている対応が虐待につながるような事があるなど、職員間の意見交換の中で学習するようにしている		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状では、各々の職員が自己にて学んでいる事や、研修会に参加して学ぶ機会を増やしていくように努めている		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	左記の通り行っている。また、いつでもお気軽にご不明な点など確認して頂けるように説明している		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は常日頃からご利用者、ご家族の話や意見に対して傾聴を心がけている。外部者に対しては月一度来訪する介護相談員に話が出来る場を設けている	組織全体として、利用者、ご家族に不満があれば、機会を見つけて改善の意識を持続するよう努力している	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	個別で、または会議の時に聞く機会を作っている	職員会議以外にも、機会があるごとに話し合いの場を持っている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	オーナー自ら個別に職員へ話を聞く機会を持ったり、少しでも意欲をもって職員研修に参加できるような取り組みを行ったり、資格取得者に対してお祝いを行う事で向上心をもって働けるように努めている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修の担当職員を決め、定期の研修を行う事で質の向上を図るよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	羽曳野市のグループホームが開催する計画作成者の会議に月1回参加している。また、その会議にて全体の各施設職員交流として年2回の勉強会を催している		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所面接の際に詳細を確認し、本人やご家族の状況把握に努めている。ご希望があれば体験入所も検討する事で現状を受け止めるよう努めている		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の信頼関係と同様		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族のその時の状況を確認し、当施設サービスに限定せず本人に合ったサービスを一緒に検討させて頂いている。入所後もご希望や本人の状況、周りの状況により必要に応じて他のサービス利用も含めて検討している		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	簡単な調理や部屋の掃除、洗濯物干しやたたむ事などを一緒に行う事で関係を築いている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が施設行事等に参加する機会を作り、一緒に楽しむ機会を設けている。気軽に面会に来て頂けるような配慮や本人の状況に応じて面会や外出の機会を増やしてもらったりする事も依頼している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	本人が自宅で使用していた家具などの持ち込みを可能にし、馴染みの環境が継続されるような支援に努めている	職員はご家族、利用者とは話し合っ改善されるよう努めている	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	親しく交流が持てるようにレクリエーションの場を設けたり、気が合う、合わないというだけでなく、この人をお手伝いたいというご利用者の気持ちなどを考慮した上でも食事の席等を決定している		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	退所時に、必要な時はお気軽に相談していただけのように声かけしている		
		サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○ 思いやり意向の把握	入浴時や散歩時など1対1で関わる機会にて本人の希望、意向等を聞くようにしている。言葉による確認が出来ない時は表情や動きから把握に努めている	利用者の真意を推し測るには、日々の行動や表情から汲み取った上で、職員同士が情報を共有している	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	入所面接の際に、簡単に生活歴を確認しているが、入所後は本人や家族に対しても面会時などで少しずつ聞き、把握するようにしている		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	記録する事、またそれらを確認したり、申し送りを密にする事を徹底し、総合的に把握するように努めている		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	定期のケアプラン会議の際には、施設内関係者の話し合いが中心であるが、それに先立って、あるいは必要時に本人や家族、主治医の意見を確認するようにしている	職員同士だけの情報交流だけにせず、本人、ご家族や担当医師のご意見も伺うよう努めている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実践への反映	個別の記録は日中、夜間を通して記入しており、日々の実施状況を確認しながら介護計画の見直しに反映している		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	併設のデイサービスや小規模多機能施設の行事に参加する事で本人の気分転換に役立てたり、本人の持つ力を引き出せたりしている		
		本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	合唱、陶芸など各種の専門家にボランティアとして来て頂き支援している。介護相談員の来所もありご意見頂いている		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	入所以前からのかかりつけ医への受診を希望される場合は出来るだけ意向を尊重している。医師へ現状を報告し、体調管理に努めている	利用者はホームの協力医の医療を受けられるように、ご家族と相談し、複数の医療機関と関係を密にするよう連携を築いている	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している			
31		○ 看護職員との協働	ご利用者の体調の変化などを常に注意し、必要時、看護師に相談し適切に受診や看護を受けられるように支援している		
		看護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は定期的に病院関係者と連絡を取るなどし、本人の状況把握に努めている。退院時には家族説明に同席し、退院後の対応についての情報、意見、方針の共有に努めている		
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に終末期の意向確認し、また入所後の体調の変化に合わせても意向確認しながら話し合いの機会を持ち、施設で出来る事など都度説明しながら方針を共有するように努めている	ご家族とは機会があるごとに話し合いを重ねている。高齢化に伴い職員の看取りへの取り組みを、職員への研修会も含めて、検討している	
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や事故発生時に備え、対応マニュアルを作成し、活用できるように研修を行っている		
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている	消防署に来てもらい、ご利用者も参加しての災害訓練を実施している。地域への働き掛けは、地域への交流を増やし、協力を得られるように働きかけている	毎年、消防署員の立ち合いで研修を行なっている。スプリンクラーの設置は今年度に完成するとして、検討を進めている	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	声かけの仕方などは折にふれて個別に職員で行ったり会議にてよりよい対応が出来るように、話し合いを行っている	職員は、利用者の情報収集や、外部との情報共有について、個別性や守秘義務についても十分に理解している	
37		○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中で例えば、水分補給時の飲物や、今日着る服、本人の使用するお茶碗などを選んでもらったりする事で小さな選択の積み重ねを大事にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりを優先してしまっている事も多くあるが、状況に応じて本人のペースや希望に合わせた対応も行っている	/	/
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	その日に着る衣類を選択してもらったり、施設内にて本人の好みを聞きながらカットしてもらおうようにしている。また部屋に本人持ちの化粧品を置き、いつでも使用できるようにしている	/	/
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	栄養士から献立を決定する際に好みを聞いてもらったり、準備を一緒にしたりしている。食事はご利用者と職員と一緒に摂る事を基本とし、随時嗜好を確認している	法人全体のキッチンで毎日用意されている。頂いた昼食はデザート付きで7品となっている	/
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	1日の摂取は通常1600cal程度とし制限食は主食や芋類の量で調整している。食事量や水分量を毎日チェックし、体重管理と共に習慣や嗜好に合わせて必要量の確保に努め、体調管理を図っている	/	/
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	毎食後の口腔ケアの他、歯科衛生士による口腔ケアも実施している。必要に応じて歯科衛生士より歯科医へ報告し指示を仰ぐようにしている	/	/
		口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	食事や入浴前など、他利用者と同じタイミングで声かけしたり、個々の状況に合わせて対応し、必要最低限のオムツやパットの使用にて清潔に、スムーズな排泄が促せるように努めている	職員は排泄記録表を利用して、一人ひとりのプライドにも配慮しながら誘導している	/
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	排便状況の把握に努め、食事、水分量、運動などで便秘の予防に努めると共に、医師に指示をもらいながら服薬等にて排便管理しスムーズな排便を促せるように努めている	/	/
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴の機会は月水金・火木土など固定しているが、『今日はお風呂の日』と楽しみにされご利用者自身のタイミングに合わせている。体調などにより必要に応じた変更には対応している	出来るだけ利用者の希望に合うよう配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝・昼・夕の食事時間を中心に生活しているが、起床、就寝など本人の生活リズムに合わせた対応も実施している。また気候により寝具や空調管理などにも配慮している。昼食後には足を延ばして休んで頂けるような声かけも実施している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	薬剤情報はすぐに確認できる場所に配置しており、個々に応じた服薬支援に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	合唱、陶芸、手芸、制作などの趣味の部分や、部屋やフロアの掃除、洗濯物をたたむ、テーブルを拭く、食器を洗う、毎日の献立を書くなど役割の部分と、両方を提供している。また散歩などでの気晴らしも提供できている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の庭や歩いて行ける範囲での外出や、買い物、外出レクなどを企画し、天候や本人の体調を考慮しながら実施している。地域の方の協力によりその方の自宅にて花見させてもらう外出レクも行えた	利用者は職員と散歩しながら会話も楽しみ、ホームの近くを散歩して頂いている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	個別の外出時などでは、本人が自分のお金を持ち、買い物ができるように援助している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	事前に家族に了解を取り、本人の希望がある場合に職員の介助にて電話をかけるようにしている。かかってきた電話には出て頂き、手紙は本人に手渡しし、必要に応じて代読している		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	庭の草木には実がなるものを植え収穫を一緒にしてもらったり、四季折々の花を楽しんでもらえるようにしている。庭で咲いた花をフロアで生けるなどして季節感を取り入れている。居心地のよい空間づくりをするよう心がけている	植木の水遣り等が年齢とともに、難しい方々もおられるので、一人ひとりの経験を活かして、適宜に手伝って頂いている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う人同士が近くの席に座られるよう、食事のテーブル以外にソファや椅子を設置し、好みの場所で過ごせる工夫をしている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの品を持ち込んでもらえるようにすすめている	ご家族にも理解してもらい、本人が心豊かに落ち着いて過ごすことが出来るように、職員同士が常に配慮している	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室などに手すりを設置し、また家具も安定した物を置くようにしている。トイレマークや入浴日の貼り出し、毎日の献立の記入、自室には記名の暖簾をかけたたり、タンスには衣類の種類を表示し少しでも自身でもわかりやすいように工夫している		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができている	○ ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
66	職員は活き活きと働けている	○ ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	○ ① ほぼ全ての家族が ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどいない